

下松市・報道発表（配布）資料

令和7年1月6日

部 課 名	課 長	担 当	連 絡 先（直通）
総務部 防災危機管理課	田村 貴恵	西本 圭佑	0833-45-1832
1. 件 名	災害用伝言ダイヤルのPRイベントの実施について		
2. 目 的	地震等大規模災害発生時の備えとして、安否情報等の確認手段の一つである「災害用伝言ダイヤル（171）」の認知度を向上させる。		
3. 日 時	令和7年1月15日（水）10時30分から13時30分まで		
4. 場 所	下松市役所1階 市民ホール		
5. 主催者	（公財）日本公衆電話会 山口支部 山口東地区分会		
6. 内 容	体験用の臨時電話機を用い、「災害用伝言ダイヤル171」の操作方法等を体験する。		
7. 参加者	一般来庁者		
8. その他	詳細は別紙のとおり		

“災害用伝言ダイヤル171”のPRを日本公衆電話会が実施
「防災とボランティア週間（1月15日～21日）」の教訓を忘れないで!!

（公財）日本公衆電話会山口支部 山口東地区分会（兼石 昌治分会長）では、「災害用伝言ダイヤル171」を、少しでも多くの方に知っていただくために下記のとおりPRイベントを行います。

ご承知のとおり、地震等大災害が発生すると、被災地への電話はつながり難くなります。

そんな時に、「災害時の声の伝言板」としての「171」は、被災地とその他の地域をつなぐ、大きな安心を与えるツールだと考えられますので、まさかの時には一人でも多くの方にご活用いただけるように周知活動に努めているところです。

日本公衆電話会では、この認知度向上のために全国各地でPRイベントを実施しています。

また、併せて、公衆電話は、比較的通話が可能となる優先電話の扱いとなっており、「災害時での家庭の電話、携帯電話が利用できない」という時の重要性は大なるものがあります。

公衆電話の特徴についても周知活動を実施します。

このような観点から、日本公衆電話会の地域社会への貢献活動として、「171」の認知度向上運動に取り組んでいるところです。

【概要】

1. 日 時 令和 7年1月15日（水）10：30～13：30
2. 実施場所 下松市役所様 （本庁舎1階玄関の受付席付近）
3. 主 催 （公財）日本公衆電話会 山口支部 山口東地区分会、事務局
4. 当会からの参加人員 約4～5名程度
5. PR実施 市民の方に利用方法を記載したチラシ等を配布するとともに、ご利用方法の説明や体験会へのご案内をいたします。
6. 体験会等 当日は、「171」へ直接ダイヤルするご利用方法（録音・再生）並びに「災害用伝言ダイヤル171」訓練機での体験等もしていただきます。
また、公衆電話の利用方法のわからない方のために、公衆電話から発信し通話できる環境を準備いたします。

(注1) 災害用伝言ダイヤル「171」は、一般加入電話、ISDN、公衆電話、ひかり電話（電話サービス）、携帯電話等からご利用できます。

(注2) 伝言蓄積等のセンター利用料は無料です。

NTT東日本またはNTT西日本の電話から伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。

他通信事業者の電話から発信する場合の通話料については、各通信事業者にお問い合わせください。

(注3) 災害用伝言ダイヤル「171」は、NTT東日本・NTT西日本が提供・運用するサービスです。

(注4) 災害用伝言ダイヤル「171」の体験利用日として、毎月1日及び15日は、全国的に「171」を体験することができます。

※ 体験利用日としては、上記の毎月1日及び15日の0時～24時の他に、
毎年1月1日 0時 ～ 1月3日 24時（正月三が日）
毎年1月15日 9時 ～ 1月21日 17時（防災とボランティア週間）
毎年8月30日 9時 ～ 9月5日 17時（防災週間）
があります。

(注5) (公財)日本公衆電話会は、公衆電話の受託者が会員となり、公衆電話の運営に関する改善向上や、地域の安全安心に寄与する公益事業などの各種施策を実施している公益財団法人で、全国の会員数は約1.7万会員、会員公衆電話機数は約2.7万台（令和6年9月末）です。

(公財)日本公衆電話会は、全国各県に支部があり、各支部は分会の集合で構成されています。

(注6) (公財)日本公衆電話会では、171PRキャンペーンの他に、小学生向けの「こども手帳」の贈呈、「地域清掃」等の社会貢献施策を実施しています。

※本資料の文責は、(公財)日本公衆電話会 山口支部にあります。

本件に関するお問い合わせ先

(公財)日本公衆電話会 山口支部

事務局 伊藤 善治

TEL 083-923-4475

e-mail itou@pcom.or.jp